

# 上関原発 海上ボーリング調査

## 10月に着手延期へ

中国電力は16日、上関町で計画する上関原発建設の埋め立て海域で予定した海上ボーリング調査について、4月にも予定していた調査着手が10月ごろに延期される見通しを明らかにした。

中国電力は16日、上関町で計画する上関原発建設の埋め立て海域で予定した海上ボーリング調査について、4月にも予定していた調査着手が10月ごろに延期される見通しを明らかにした。中国電力は、調査台船の準備が4月までにできなかったためとしている。調査に必要な条件を満たす大型台船を所有する船会社と交渉したが、いずれも9月末まで工事などで使用中だったという。中国電力は2019年6月に、埋め立て免許の3年6カ月間の延長を申請し、6カ月間の海上ボーリング調査後、3年間で埋め立てを完了するとして、県から7月に23年1月までの延長が許可された。しかし、台船調査などに手間取り、19年10月になって調査に必要な海域の占用許可を申請し、県から許可を受けた。11月に準備作業後、調査に着手する予定だったが、反対派住民の海上での抗議活動などにより準備作業にも入れず、12月に県に占用許可廃止を届け出て調査を一時中断。20年4月ごろの着手を目指していた。

準備事務所は「期間的にタイトな状況となっているが、免許期間内に埋め立て完了できるように取り組む。そのため海上ボーリング調査を確実に実施できるようにする」としている。

【大山典男】